令和３年７月　新刊案内

高砂市男女共同参画センターでは図書の貸出を行っています。
お一人様２冊まで　期間は２週間です。

レスキューナースが教えるプチプラ防災

著者：辻　直美

防災に興味を持ち情報を集め、実践してきた著者が提唱する「シンプルで心地よく過ごしているだけで、いつのまにか防災になっている暮らし」が紹介されています。
１００均グッズを使って命を守る備えや、災害発生後７２時間を生き延びる方法、またその後を生き抜く知恵とテクニックについてレスキューナースの経験を踏まえた提案がなされており、とても参考になる１冊です。

どうしても頑張れない人たち

著者：宮口　幸治

子どもの頃から「努力すれば報われる」「やればできるんだから頑張りなさい」という言葉は、幾度となく聞かされてきました。しかし、発達障害等で頑張っても頑張れないので、どうしても怠けてしまっているように見えるケースが存在します。著者はこういった頑張れない人たちこそ支援が必要だと言います。
この本ではこういった頑張れない人たちについて、本人たちはどう感じているか、周りの支援者が大切なことを見失うことなく、改善や工夫できることはないか、また支援者自身も頑張るためにはどうすればいいかといった観点で書かれています。

ヤングケアラー
～介護を担う子ども・若者の現実～

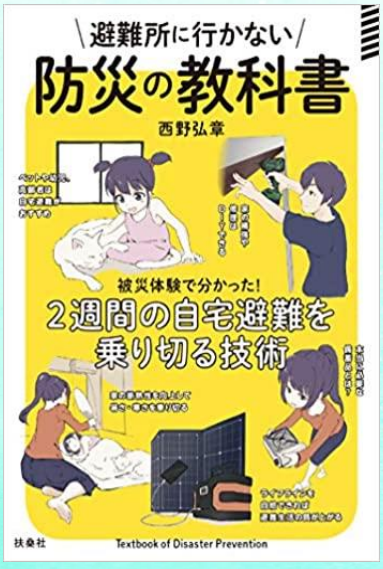
著者：澁谷　智子

ヤングケアラーとは、家族の中にケアを必要とする人がいるために、家事や家族の世話を行っていて、通学や学業に支障をきたしている１８歳未満の子供のことです。教育を受ける機会は、子どもの最低限の権利ですが、ヤングケアラーはその権利が守られていません。家事全般や高齢者や障害がある兄弟、親の介護・排泄の世話等お手伝いのレベルではありません。学校では、介護やケアの事がわかる人が少ないため、話をしても受け入れてもらえないと思ってしまい、助けを求める方法もわからず、孤立していきます。大人ならどのように助けを求めたらいいのかわかりますよね！
あなたの身近に、ヤングケアラーはいませんか？

小説　８０５０

著者：林　真理子

いじめ・受験失敗・就職浪人・・・引きこもりに至る経過はそれぞれですが、引きこもりの子を持つご家族は、私たちが想像する以上に多く存在します。
この物語は有名中学校に合格したものの、中学校で犯罪と言ってもおかしくないほどの壮絶ないじめを受け、７年間も引きこもった息子と、このままでは我が子を手にかけ、自分も死ぬしかないと息子と向き合う事を決意した父親、それを取り巻く家族の絶望と再生の物語です。圧倒的なリアリティーで、物語に引き込まれます。読んでみませんか？



避難所に行かない防災の教科書

著者：西野　弘章

地震が各地で頻発、台風、暴風雨等の甚大な災害、世界情勢不安・・突然何が起きても不思議ではない時代です。新型コロナウィルスの流行や家族に乳幼児や妊婦、高齢者や介護者、持病のある方、またはペット等災害弱者となりやすい方がいる場合、従来のように「避難所に避難する」ことだけが正しい選択ではなくなってきています。避難所の環境はお世辞にも良いものではなく、ストレスフルな環境で災害関連死を防ぐために「どうすれば避難所に行かなくて済むか？」を考えてみませんか？著者は2019年の千葉の超大型台風を乗り切りました。自宅の安全度を高めて自宅に避難するという新しい避難の形を提案している本です。